

科学研究推進 WG

田原 俊司

1. 目的

科学研究費補助金などの外部資金獲得等を目的として、主に技術職員に関係深い奨励研究について申請の奨励や計画調書・応募カード等の書類チェックを行い、申請数や採択率の向上に寄与すべく活動している。

2. 活動記録

本年度の主な活動内容は本学主催の科学研究費補助金に関する講演会に出席。さらに行事としては奨励研究相談会を開催し、また奨励研究申請書類のチェックを行った。詳細を以下に記しておく。

- 7月9日 第1回科学研究推進WG連絡会
- 7月28日 科学研究費補助金に関する講演会出席
- 10月10日 第2回科学研究推進WG連絡会
- 10月24日 奨励研究計画調書サンプル配布
- 10月31日 奨励研究相談会開催
- 10月31日 奨励研究申請書類の事前チェック受付開始
- 11月7日 事前チェック受付締切り
- 11月14日 事前チェック後返却完了
- 11月21日 技術部内の奨励研究申請書類提出締切り
- 12月10日 第3回科学研究推進WG連絡会
- その他 研究課題の審査結果に関する調査

3. 成果

奨励研究相談会の参加者数は3名であった。昨年の8名と比べても激減しており、手法の変更あるいは新規採用者等の状況を踏まえ開催を見合わせることも視野に入れて今後の課題としたい。

また、奨励研究申請書類のチェック依頼者は昨年より1件減って8件となった。申請1件に対し、2名の委員がそれぞれチェックを行った。申請件数は昨年の20件に対し22件となり、若干の増加となった。ただし、奨励研究申請有資格者数も1名増えて37名となっている。なお、平成20年度奨励研究については申請件数20件に対し、採択件数は2件であった。全国的にみて採択件数が年々減って獲得競争がますます激化しており、さらなる質の向上が求められるので、本WGの果たす役割も大きくなると考えられる。

4. 今後の課題

奨励研究申請者数は技術部全体としてはまだ少ないと思われるので、申請者数の増加を図ることが必要である。チェック機能の均一化や高機能化を図るばかりでなく、有用な情報をすべての技術職員に伝えるとともに、申請の奨励活動にも力を注ぎたいと考えている。